

水痘（みずぼうそう）予防接種の説明

接種対象年齢	生後12月から36月に至るまで（誕生日の前日まで）
望ましい接種年齢	生後12月から生後15月に至るまでに初回接種1回 追加接種は初回接種終了後6月から12月に至るまでの間隔を置いて1回
ワクチンの種類	弱毒生ワクチン
予防する病気	<p><水痘（みずぼうそう）> 水痘・带状疱疹ウイルスによって引き起こされる、発疹を伴う急性の伝染性疾病です。毎年約100万人の患者が発生していると推定されます。そのほとんどが9歳以下であり、空気感染し、強い伝染力を持ち、家族内での接触では90%が発症してしまうと報告されています。</p> <p>症状としては、2週間程度の潜伏期間を経て、掻痒を伴う発疹を生じ、発疹は全身に広がり、紅斑、丘疹を経て水疱となり、最終的に痂皮化します。一般的には軽症であるが、重症化し入院や死亡に至る例もあります。</p>
接種回数	<p>（標準的な接種） 2回 生後12月から15月に至るまで 初回接種終了後6月から12月に至るまで</p> <p style="text-align: center;"> 初回：1回 → 3か月以上あける 追加：1回 </p>
実施時期	年間通して実施
実施場所	個別予防接種実施医療機関
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 既に水痘に罹患したことがある者は接種対象外とする。 任意接種として既に水痘ワクチンの接種を受けたことがある者は、既に接種した回数分の接種を受けたものとみなす。（経過措置対象者も含む）
副反応	水痘ワクチンは弱毒生ワクチンですから、ウイルスが体内で増えます。健康な子ども、成人には接種後1～3週間頃、ときに発熱、発疹が現れることがありますが、一過性で通常数日中に消失します。悪性腫瘍や白血病、ネフローゼの患者では接種後14～30日に発熱を伴った丘疹、水疱性発疹がでることがあります。
備考	各医療機関に予約の有無や時間を確認してください。 必ず体温を測って、予診票と母子健康手帳を持っていきましょう。